

# 平成 22 年度 第 2 回経済学教育 FD/ICT 活用研究委員会 議事概要

- I. 日 時：平成 22 年 9 月 27 日(月) 10：00～12：00
- II. 場 所：私立大学情報教育協会 事務局 会議室
- III. 出席者：林委員長，中嶋委員，望月委員，渡邊委員，碓井委員  
(事務局) 井端事務局長，森下主幹，渡邊職員
- IV. 議事概要

## 1. 検討内容

### 「学士力」実現に必要な ICT 活用の具体的な検討について

今回の検討内容として，前回の会議に引き続き，「経済学教育における学士力の考察」の到達目標に対して，ICT を活用することで，これまでできなかった学びや教育の方法のモデルを示すことを確認した．具体的には，学びの動機付けの手法，ファシリテーターの活用などの例を考察し，これに ICT を活用すると教育効果があるという視点で，5 年先を視野に入れた実践事例を示していく．

各委員より前回の検討課題について以下の報告があった．

- ・ 日本経済論：予習必須型教育モデルの提案．レジュメを配付せず各自が web からダウンロード)
- ・ 統計学：グループワーク，ICT 活用による学生間の学びの相互サポートの提案
- ・ 講義ビデオにクイズをつけることで授業外学習時間を確保する仕組みを提案
- ・ 物を考えること主眼を置いた ICT 活用，掲示板等による多方向性型授業の展開
- ・ 受講者が 500 人以上大人数クラスでの授業方法，および採点に Excel 関数の活用に関する情報提供

その後さまざまな意見や情報が交換された．NHK テレビ「ハーバード白熱教室」の裏舞台に，講義をやる教員とは独立したファシリテーターの存在や，学生チューターが活躍していること，そして彼／彼女らが主導の元でリーディングの予習をかなりやらせてきた上での講義であるなど，日本の大学教育とは異なる条件で成立している講義であることの情報提供があった．またハーバード大学では 4 年生の学生がチューターとして雇用され，そのことが金銭的なインセンティブのみでなく，就職でも有利になるから応募者が多いとの情報提供があった．さらに履修証明書の発行(日本での科目等履修生のような制度)によって学びの証明がされていることがわかった．

また，今後の議論により，理想の授業を提案する条件を示していくことを確認した．具体的には，いかなる条件であれば理想の授業が成立するのかについて，3 点程度の具体的な提案(実践事例)をまとめること，そして具体的な提案を大学で実現するためのハードルを整理していくことを確認した．

## 検討課題

今回の議論をさらに各委員が検討・発展させ，アイデアを提出する．具体的には，今

回議論した「学士力」の実現に求められる ICT 活用」をさらに発展させ、5 年先を視野に入れて「経済学教育における学士力の考察」に関して学びが身に付くための ICT 活用の案(アイデア)について検討し、各委員より授業デザイン(教育手法、教育スタイルの提示)を作成する。宿題提出締め切り：10 月 29 日(金)までにメールリストに添付ファイルで提出。その後 2 週間、ネット上で議論する。

※授業デザイン：たとえばグループワークの活用、ICT をどこで使うかなどの手法

#### V. 次回の開催日程

日時：平成 22 年 11 月 13 日(土) 16 時から 18 時までを予定

場所：私立大学情報教育協会 事務局 会議室

以上